

つばめ保育園の四季 (2015年夏～冬)



♪あー もみの木 もみの木
きみから学ぶ
どんな時にも 希望を捨てるな
あー もみの木 もみの木
きみから学ぶ♪

願い事の短冊がたくさん集まりました。



“七夕まつり…子どもの願い”

7月7日(火)

子ども達、大人達みんなが願い事を短冊に込めて、笹に飾りました。たくさん集まり、ホールに張り出す程でした。

今年の子どもの願い事のトップは「お父さんお母さん、もっと可愛がってください。」

大人達の願い事のトップは「家族皆が健康でありますように。子どもがすくすく育ちますように。平和がずっと続きますように。」

釣り上げて自慢げな子ども達



“つくばゆかりの森”でザリガニ採り

7月15日(水)

ゆかりの森へは約1時間バス8に揺られて到着です。

ザリガニのいる池に着くと、拾った木枝に糸を結びサキイカを餌に池に吊るして、ザリガニが喰いつくの待つ子ども達。静かに待った方がいいのですが、「いる！いる！」「ここにおいでよー」などと嬉しさのあまり興奮気味に大声でしゃべっています。

まず、保育者がどんどんつかまえるのを見せると、ますます子どもたちも「よーし！」とばかりに釣り上げるのです。

恐る恐るザリガニを捕まえていた子ども、だんだん上手になってきて嬉しそうです。小一時間で、全部で84匹も釣れました!!

大満足の後のお弁当は最高でした。

この夏、ザリガニと共に生きた子ども達でした。

館山海のお泊り保育

7月23日(木)～25日(土)

親子海遊び(阿字ヶ浦)

8月1日(土)

館山の海の3日間は年長、学童さんの海あそびと、例年のように存分に海に抱かれた3日間を楽しんできました。どの子どもも笑顔がはじけ、波のり、波もぐり、ボートからの飛込み、カニ採り、海辺でのお相撲大会、スイカ割り、花火、貝拾いなど、遊びぬきました。

そして、今年は父母会主催の親子海あそびが実現しました。赤ちゃん達も、抱っこされながら波と遊びました。お父さんお母さんの中には十数年ぶりという方もおられましたが、子ども時代に戻り夢中になって遊ぶ親子の姿が微笑ましかったです。

大自然の中で遊びきた子ども達

前田 由美/卒園児・1才児母

家族4人で参加する予定でしたが、お父さんは仕事のため母子3人で参加しました。お天気にも比較的恵まれ、館山に着いてすぐに沖ノ島でお弁当を食べましたが、みんな早く海に入りたくて、さっさとお弁当を切り上げて水着に着替えていってしまいました。ヤドカリ、イソギンチャク、魚など夢中で探っていました。さすがつばめの子、素早く逃げるカニですがつかまえられる子はいなく、私も負けじと夢中になって追いかけましたが、ヤドカリしか取れませんでした。

ものすごい強風で、砂浜の砂嵐が杏奈にいたいものだと初めて体験しました。帰りは大人でも歩くのもやっとなのに、どの子ども荷物を持ってしっかり車まで歩いて行ったのには感心しました。

宿についてお風呂に入り、お楽しみの夕飯の時にねいろちゃんがお母さんを思い出したのか泣いてしまいました。保育者が「子どもなんだからお母さんに会いたくなって泣いてしまうのは当たり前、いいんだよ」と優しく包んでもらって気持ちを建て直し、お母さんに電話をしなくても大丈夫と、ちゃんとご飯を食べ始めて「えらいぞ」と思うとともに、我が子たちもこうしていつも子どもの気持ちに寄り添ってもらっているんだと胸が熱くなりました。

次の日は、車に乗って外海の千倉の潮風大国へ。私は高校生以来の海へ水着で入りました。意外に水が冷たく水に入ることを躊躇している中、子どもは全然平気で、「みんなみてて！」と、そんなに高い波ではなかったものの何度も波に乗ったり、ボートに乗って楽しんでいました。たくみくんは何度も果敢に波に向かっていったり、けいじくんは潜ってみたり、ねいろちゃんはスーッと脱力して波に浮かんでいたり、なみちゃんは泣いたりしながらもへこたれず挑戦したり、1年生のあゆも他の学童さんに交じりダイナミックに泳いだり飛び込みをしたり、本当に楽しそうでした。2才2カ月のさよも初めての海でしたが、泣くこともなく海に入ったり砂遊びを楽しんでいました。

最後の日も朝から貝拾いをし、ホテルの前の海でたっぷり泳ぎました。スイカ割りもしてみんな大満足！二泊三日遊びきたという感じでした。

中々家族だけではこんなにダイナミックに遊ぶ事はできないですし、こんな自然に身を置く経験を保育園でさせてもらえる子ども達は本当にうらやましい限りで、親としては有り難いことだと思います。大事な子どもたちを預かっているという責任はとても大きく、常に全体に気を配る緊張感の中で、尚且つ子どもと一緒にあって自らも楽しむという保育は本当に大変なことがよくわかりました。